

本学は、学生が獲得することが期待される能力(学習成果)をシラバスに明示しています。

## 生活科学専攻 生活文化コース

### 学習成果

#### 1. 基礎力

- ①帝京短期大学の建学の精神を理解し、人格性を高めることができている。(人間的基礎力)
- ②コースの学習目的・目標(社会人育成)を理解し、成果を上げている。(社会的基礎力)
- ③専門科目の基礎的学習成果を上げている。(専門的基礎力)

#### 2. 実践力

- ①身近なボランティアに積極的に参加し、ボランティア精神を身に付けている。(人間的実践力)
- ②社会性を高め、良い社会人として活動している。(社会的実践力)
- ③資格取得に取り組みキャリアルートの形成に積極的に取り組んでいる。(専門的実践力)

#### 3. コミュニケーション力

- ①身の回りの人や仲間との関わりに必要なコミュニケーションが円滑にできる。(友達力)(身近なコミュニケーション力)
- ②社会的活動に協力的で、さらにリーダー的役割を果たせる。(社会貢献力)(社会貢献におけるコミュニケーション力)
- ③科目で学んだ専門的知識・技術を社会に伝え生かせる。(専門性活用力)(専門に関するコミュニケーション力)

#### 4. 自己向上力

- ①インターンシップや就職活動に取り組み成果を上げている。(自分形成力)(自分に関する向上力)
- ②地域づくりの意義や価値を理解し、積極的に取り組むことができている。(社会性形成力)(社会づくり向上力)
- ③コースに設定されている資格取得や技術向上に成果を上げている。(専門性向上力)(専門に関する向上力)

## 生活科学専攻 養護教諭コース

### 学習成果

#### 1. 基礎力

- ①帝京短期大学の建学の精神に基づき、教師としての使命と責任の重要性を理解することができる。
- ②専門科目を学ぶ上で、基礎的な理解ができている。
- ③養護教諭の職務を遂行する上で、必要な基礎的な知識と技術が身に付いている。
- ④児童・生徒の発達の特徴を理解し、健康実態を把握することができる。

#### 2. 実践力

- ①社会性を高め社会人として社会活動に参加できる。
- ②児童・生徒の実態に応じた、対応と指導ができる。
- ③保健室経営目標を立て、保健活動を企画・実施・評価できる。

#### 3. コミュニケーション力

- ①身の回りの人や、子どもとの関わりに必要なコミュニケーションが円滑にできる。
- ②コミュニケーションを通して周りの人たちと共同的な関わりができる。
- ③物事や人との関わりに必要な倫理的嗜好ができると同時に自己理解や他者理解ができる。

#### 4. 自己向上力

- ①コースに設定されている資格取得に成果を上げている。
- ②変化する社会の中で養護教諭の社会的責務を理解し、自分を振り返り自己の課題をみつけ学び続けることができる。
- ③教員としての資質を磨くために幅広い学びができる。

### 食物栄養専攻

#### 学習成果

##### 1. 基礎力

- ①専門科目を学ぶ上で、基礎的な理解ができています。
- ②様々な基礎科目の学習により、基礎的な知識や技術を習得することができます。
- ③栄養士として適切な考え方や態度を身に付けています。

##### 2. 実践力

- ①社会性を高め社会人として社会活動に参加できる。
- ②対象者のライフステージや疾病の状態を理解し、適切な給食の提供に活かすことができる。
- ③対象年齢の異なる対象者に給食を提供することで、食に対する実践力を養うことができる。
- ④対象者に応じた給食の提供や栄養指導ができる知識や技術を身に付けています。

##### 3. コミュニケーション力

- ①身の回りの人との関わりに必要なコミュニケーションが円滑にできる。
- ②適切に情報を伝えるスキルを習得し、安全に給食マネジメントをすることができる。
- ③他者とスムーズに連携することができる。

##### 4. 自己向上力

- ①コースに設定されている資格取得に成果を上げている。
- ②常に向上心を持ち、食をとりまく科学の進歩と社会の変化に的確に対応することができる。
- ③食への探求心を持ち、自ら様々な食経験をしながら、知識・技術を日々向上させていくことができる。
- ④幅広い栄養士の活躍の場の中から、将来の方向性や目標を自ら設定し、自己研鑽することができる。

### こども教育専攻

#### 学習成果

##### 1. 基礎力

- ①建学の精神を理解し、常に向上させるために努力する力を身に付けることができる。
- ②社会人として必要な知識・技術を理解し、実生活のなかで実践できる。

##### 2. 実践力

- ①子どもの発達課題を理解し、教育課程に基づき指導計画をたて実践することができる。
- ②子どもを取り巻く環境を理解し、臨機応変に保育を展開できる。

##### 3. コミュニケーション力

- ①他者の感情や意図を理解し、適切な方法で柔軟に関わることができる。
- ②様々な問題に対して社会資源を活用し、円滑に連携することができる。

#### 4. 自己向上力

- ①教育・保育に係る様々な課題に関心を持ち、課題解決のために努力することができる。
- ②生涯にわたり自己を啓発していく姿勢を維持できる。

### 臨床検査専攻

#### 学習成果

##### 1. 基礎力

- ①医療における臨床検査の役割を理解し、必要な基礎知識・技術を習得している。
- ②医療従事者として必要な考え方や社会性、思いやりをもった態度・行動ができる。

##### 2. 実践力

- ①安全に留意し、正しい手順で検査を行なうことができる。
- ②各分野の知識を統合し、検査値と病態の関係性を理解できる。

##### 3. コミュニケーション力

- ①他者への配慮・気遣いができ、信頼関係を築くことができる。
- ②状況を的確に判断し、必要な事柄を適切に伝えることができる。

##### 4. 自己向上力

- ①自身の課題を発見し、その解決に向けて行動できる。
- ②医学検査のスペシャリストとして新しい知識・情報の収集に努めることができる。

### 柔道整復専攻/柔道整復専攻(二部)

#### 学習成果

##### 1. 基礎力

- ①柔道整復師の治療に必要な基礎的知識を身に付けている。
- ②柔道整復師の治療に必要な基礎的技術を身に付けている。

##### 2. 実践力

- ①正確な診断力を身に付けている。
- ②科学的根拠に裏付けされた治療を行うことができる。

##### 3. コミュニケーション力

- ①医療従事者に必要な常識や態度を身に付けている。
- ②インフォームドコンセントを行うことができる。

##### 4. 自己向上力

- ①変化する医療情勢に対応できるよう常に最新の医療情報を収集することができる。
- ②治療に必要な技術の向上、医療者としての自己研鑽を行い、自己の向上に努めることができる。

## 専攻科 こども教育学専攻

### 学習成果

#### 1. 応用力

- ①本科における学習成果を基礎とし、より専門性の高い判断能力を身につけ、実践に活かすことができる。
- ②総合的な知識・技術を身に付け、対象児・者の最善の利益を考慮した発想力を持つことができる。

#### 2. フィードバック能力

- ①保育・福祉の場における様々な場面での即応力を身に付ける。
- ②物事の事象や本質を捉え、内容を的確に他者に伝えることができる。

#### 3. 地域理解力

- ①子どもと保護者を取り巻く社会的環境を踏まえ、地域の福祉や保育を担う専門職としての資質を身に付ける。
- ②地域の特徴(自然や文化)を活かした福祉サービスを提供することができる。
- ③地域福祉の推進の中核を担う専門職として、子どもの健全育成と子育て支援について地域や家庭と協働する力を身に付ける。

#### 4. 知識・技術活用力

- ①本科で習得した知識・技術を活かして、豊かな人間性とコミュニケーション能力を高める。
- ②本科で習得した知識・技術を活かして、保育現場で活用することができる。

## 専攻科 臨床工学専攻

### 学習成果

#### 1. 基礎力

- ①医学系、工学系の基礎的な知識を習得している。
- ②医療機器の治療原理、基本的な操作技術を習得している。

#### 2. 実践力

- ①基礎技術力を基に臨床へ応用、実践することの能力を習得している。
- ②臨床工学領域において安全な治療を提供することの技術力を習得している。

#### 3. コミュニケーション力

- ①患者の痛みや悩み等を傾聴し、適切な助言をすることの能力を習得している。
- ②チーム医療における他職種と連携して行動することの能力を習得している。

#### 4. 自己向上力

- ①常に臨床工学領域での最新情報を取り入れ、応用することの能力を習得している。
- ②自己分析するとともに、スキルアップのための手段を考えることができる。

1. 応用力

- ①これまでの学びを統合し、養護活動に役立てることができる。
- ②児童・生徒の健康課題に応じて適切な指導ができる。

2. コミュニケーション力

- ①児童生徒の健康課題に応じて、解決のために積極的に関係者に働きかけることができる。
- ②多様な価値観をもった児童・生徒を受け入れ、課題解決のために必要な人と連携・協働して仕事ができる。

3. 地域理解力

- ①大学や実習校の地域の特色や環境について理解する。
- ②地域の特色を生かした子育て支援の構築について考え支援できる。

4. 知識・技術活用力

- ①養護教諭の専門性を高め、緊急度、重症度に応じた適切な判断と対応ができる。
- ②学校保健のコーディネーター的役割を担い、組織的に仕事をするすることができる。